

事業所名

放課後等デイサービス ウィズユー中津

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		未来を生きる力を培う								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 発達に心配のあるお子さまとご家族が、地域の中で少しでもゆとりをもって生活をしていけるように支援します。 お子様一人ひとりに適した活動・訓練を共に行い、やりたいことを実現するためのサポートができるように支援します。 それぞれの年齢に応じて、自ら考え行動できるようになるために必要なスキルを身につけられるように支援します。 楽しく、安心して過ごせる場所を提供するとともに、様々な経験を積むことで心身ともに成長を促せるよう支援します。 関係機関との協働を大切にします。 								
営業時間		10時	0分	から	19時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	子どもの障害特性・発達過程に配慮し、日々の細かな変化に留意しながら健康な心と身体を育て、安心・安全に生活が出来るように支援する。持ち物の管理、道具・遊具の用意や片付けなど、環境の整備を自主的に行えるように支援する。個人の発達段階に合った介入、援助を適切に行い成長発達を促すように支援する。☑								
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善や習得できるようにバランスボール、トランポリン、縄跳び、公園などで思い切り体を動かすなどの粗大運動を取り入れ基本動作能力が獲得、向上できるように支援する。折り紙やビーズアクセサリ作り、道具を用いた工作活動を通して微細運動を促す。遊具や道具を通して身体全体または特定の部位を動かし、楽しみながら体験することで、感覚の活用や調整を行うことが出来るように支援する。								
	認知・行動	日々の様子や状況を確認しながら、無理なく情報や刺激を処理することが出来るように環境を整える。具体的な物や絵カードを使った課題、プリント学習の中で数の操作・形・長さ・時間などの概念を習得できるように支援する。活動の終わりの時間を事前に確認したり、時計にシールを貼って示すなどを通じて、時間を意識して自ら行動できるように支援する。感覚過敏やこだわり、コミュニケーションの困難から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。								
	言語コミュニケーション	自分の要求や援助を求めるために必要な言動を習得し、コミュニケーション能力が向上できるように支援する。相手の言葉や意図を理解したり、自分の思いや考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することが出来るように支援する。自身の障害特性に応じたコミュニケーション手段を活用出来るように支援する。また、障害特性に応じた読み書き能力向上のための支援を行う。								
	人間関係社会性	個別・小集団の関わりを大切にし、安心して活動できる環境下で、人や環境に対する愛着の形成・安定が行えるように支援する。ルールのある遊びの中で、お友達と協力する楽しさが体験できるように場面設定を行い、協働力を身に付けられるように支援する。いろんな活動を通して、自分の得意・不得意、興味関心、行動の特徴を自己理解し、感情のコントロールが出来るように支援する。								
家族支援		家族からの相談や障害特性に配慮した家庭環境の整備に対する適切な助言等を行いながら、子どもや家族の信頼感を育み、良好で安定した関係を築けるように支援する。				移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行を考慮しながら支援を行う。他事業所と併用利用している場合は、密な連携を図る。		
地域支援・地域連携		子どもに関わる地域の関係者・関係機関とは、必要に応じて連携しながら支援を行う。				職員の質の向上		事業所の提供する支援の質の向上のため、事業所内研修の実施や外部研修の受講を行う。		
主な行事等		季節に合わせた行事（プール遊び、クリスマス会など） 興味関心を促す活動の提供（おやつ作り、季節に応じた工作、事業所外活動など）								